

リビングドア

アウトセット吊戸 片引 天井付け吊戸

施工業者様へ

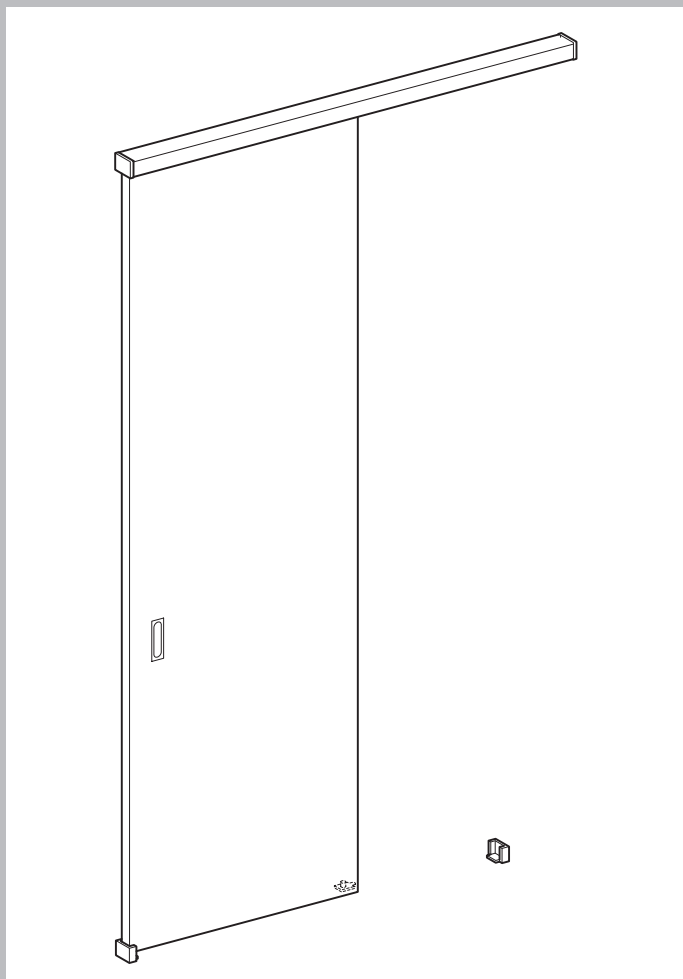
弊社では、お施主様が製品を安全に正しくご使用いただくため
のお願い事項やお手入れ方法などの重要な内容を記載した「取
扱説明書」を添付しております。

必ず、取扱説明書をお施主様に手渡し、使用方法を説明してい
ただきますようお願いいたします。

※取扱説明書は下記のURLからダウンロードできます。
<https://www.daiken.jp/qr/manual/>



このたびは、「DAIKEN製品」をご採用いただき
ありがとうございます。



■ 施工の際は以下の工具をご用意ください。

- 電動ドライバー (⊕2番ビット)
- コンベックスなど測定機器
- 水準器 ・ 下げ振り
- ハンマー ・ 丸ノコ



※左記のマークがある場合は、
電動ドライバーを使用しないでください。

もくじ

施工説明書

1. 安全上のご注意 (必ずお守りいただきたいこと) ……	1
2. ラクラクローズ機能について ……	2
3. 製品寸法図 ……	2
4. 施工の流れ ……	7
5. 各部のなまえと部材・部品表 ……	8
6. 開口部の確認と準備 ……	10
7. 枠の取付け ……	12
8. 吊戸レールの取付け ……	14
9. 扉の取付け ……	16
10. 引手の取付け ……	21
11. 扉の養生 ……	21
12. 扉の動作確認 ……	22

- この製品の性能と安全性を確保するために、この
施工説明書をよくお読みいただき、手順通りに正
しく施工してください。
- この説明書に出てくる **!**、**⊘** マークや **お願い** は、
施工上重要な内容が記載されていますので、注意
深く読み、よく理解してから作業してください。
- 梱包材や残材は、法律に従って適切に処理してく
ださい。
- 製品を廃棄する際は、法律および地方自治体の規
則に基づいて適切に処理してください。

取扱説明書

1. 安全上のご注意 (必ずお守りいただきたいこと) ……	23
2. 使用上のお願い ……	24
3. 扉の調整のしかた ……	25
4. お手入れのしかた ……	26

- この説明書は、本製品の取扱い方法について説
明します。
- この取扱説明書に記載されている「**△ 警告**」と
「**△ 注意**」事項は、使用上重要な内容です。本
製品の性能と安全性を確保するために、よくお読
みいただき、正しくお使いください。
- 製品を廃棄する際は、「廃棄物の処理及び清掃に
関する法律」および地方自治体の規則に基づいて
適切に処理してください。
- お読みになった後は、いつでも利用できるよう
に、この取扱説明書を大切に保管してください。

1. 安全上のご注意（必ずお守りいただきたいこと）

この製品をお施主様が末永く安全に使えるように、またトラブルなく確実に正しく施工するために、以下のことを必ず守ってください。

警告表示の種類と内容



警告

誤った取扱いにより死亡や重傷などに結びつく可能性のある内容



注意

誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつく内容

本文中に使われている図・記号の意味は次のとおりです。



してはいけない内容です



必ず実行していただく内容です

お願い

留意事項、操作方法、使用・お手入れ方法など

施工上のご注意

警告



ビスの締付け不足、またはビスの締め過ぎによる空回りの状態に注意してください。製品が外れて、けがや破損のおそれがあります。



下地補強がない天井に施工しないでください。下地補強が不十分な場合、扉が脱落してけがをする原因になります。

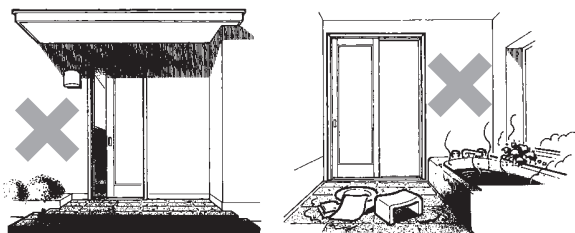
注意



- ・施工は本説明書に従って確実にこなってください。
- ・施工に使用する部品は「現場手配」と明記のないもの以外は、必ず付属部品および指定部品を使用してください。
- ・枠、レールの躯体への固定を確実にこなってください。
- ・吊車を扉に確実に取付けてください。



この製品は一般住宅用の室内ドアです。他の用途に使用しないでください。



本書は標準品に準じた寸法を表示しております。

特注・特寸で製造した製品については、現品のサイズ・加工などを確認のうえ施工してください。



床材がカーペットやクッションフロアなどの場合は取付けできません。



土壁など強度が不十分な壁材の場合は取付けできません。

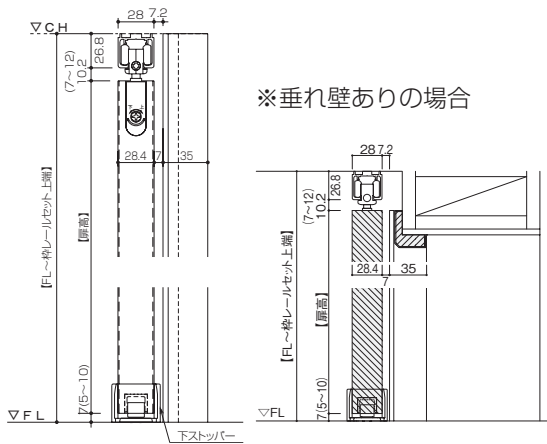


工事が完成するまでの間、扉は立てかけて保管しないでください。

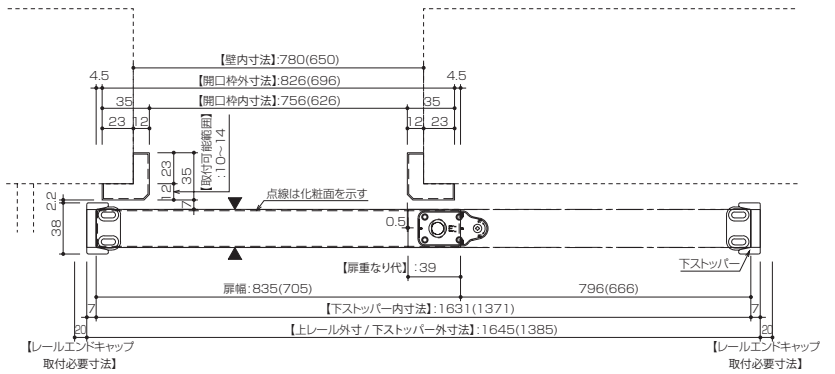
3. 製品寸法図

■開口出隅 () 内は扉幅705の場合

縦断面図



横断面図



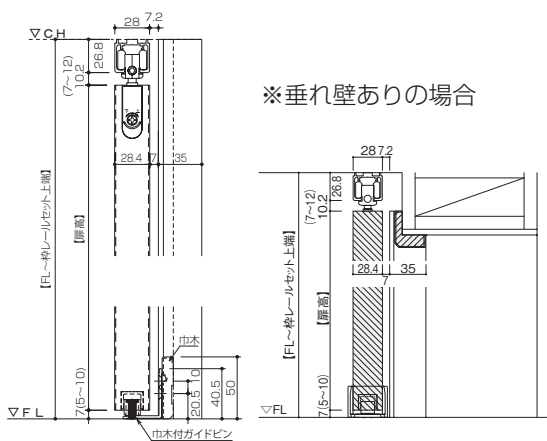
FL~枠レールセット上端	扉高
2089	2045
2400	2356
2500	2456

※扉高は、「天井高(FL~枠レールセット上端)−44mm」になります。

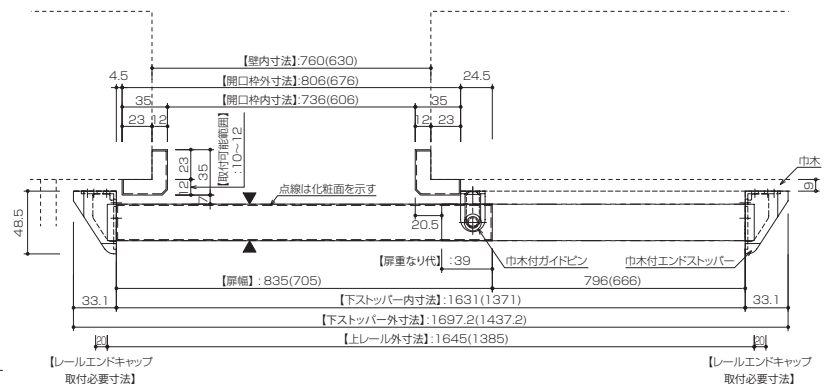
※扉高2356、2456は特注サイズです。

■開口出隅巾木付き () 内は扉幅705の場合

縦断面図



横断面図



FL~枠レールセット上端	扉高
2089	2045
2400	2356
2500	2456

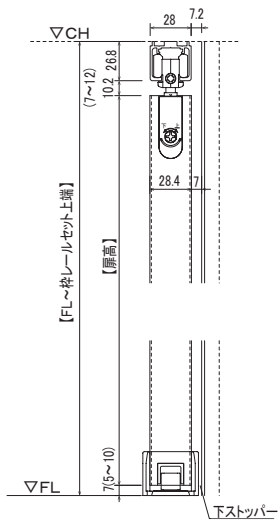
※扉高は、「天井高(FL~枠レールセット上端)−44mm」になります。

※扉高2356、2456は特注サイズです。

3. 製品寸法図

■無目枠 () 内は扉幅705の場合

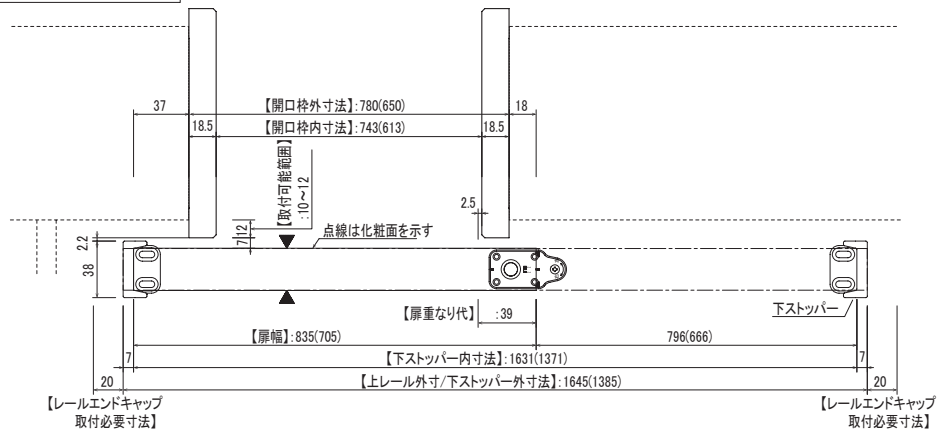
縦断面図



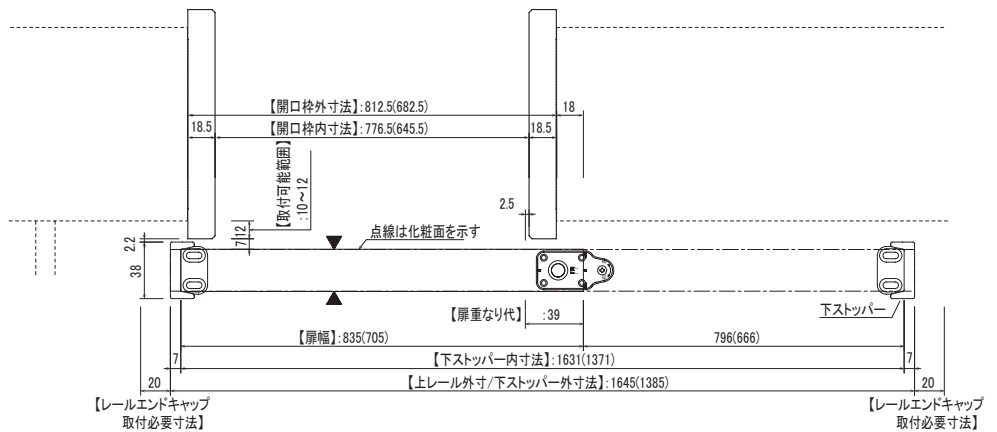
FL~枠レールセット上端	扉高
2089	2045
2400	2356
2500	2456

※扉高は、「天井高(FL~枠レールセット上端) - 44mm」になります。
 ※扉高2356、2456は特注サイズです。

横断面図

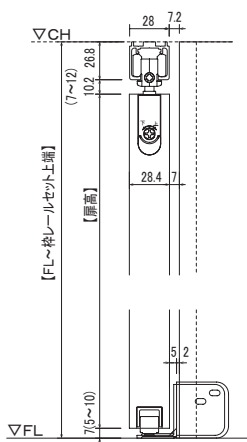


※最大開口幅の場合



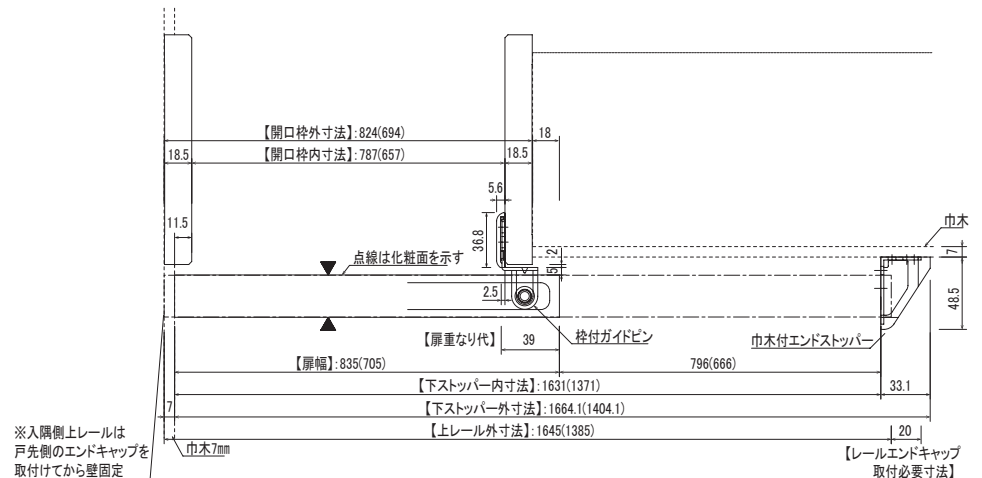
■無目枠入隅巾木付き () 内は扉幅705の場合

縦断面図



FL~枠レールセット上端	扉高
2089	2045
2400	2356
2500	2456

横断面図



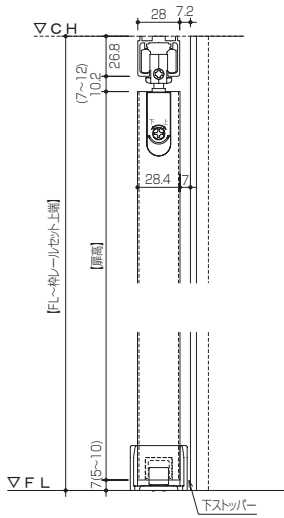
※入隅側上レールは戸先側のエンドキャップを取付けてから壁固定

※扉高は、「天井高(FL~枠レールセット上端) - 44mm」になります。
 ※扉高2356、2456は特注サイズです。

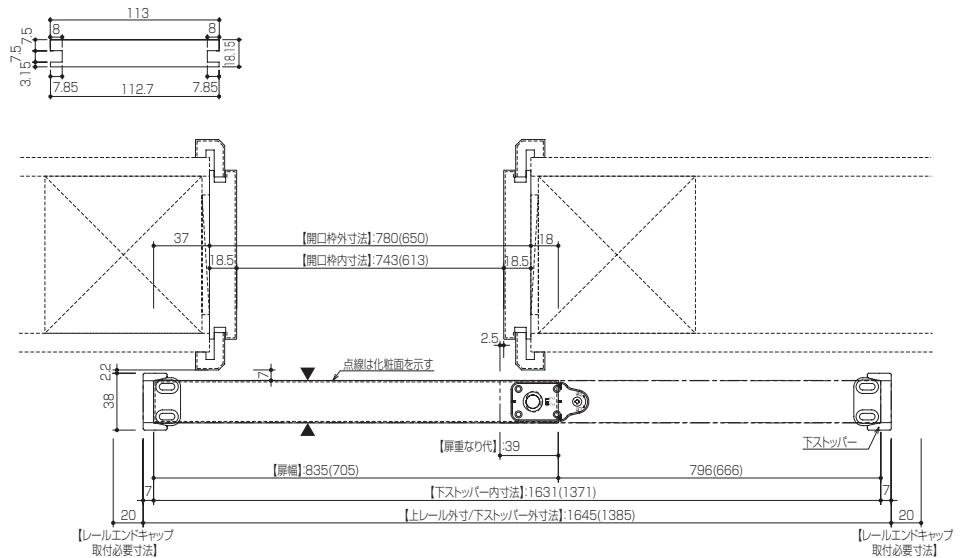
3. 製品寸法図

■無目枠調整式 () 内は扉幅705の場合

縦断面図



横断面図

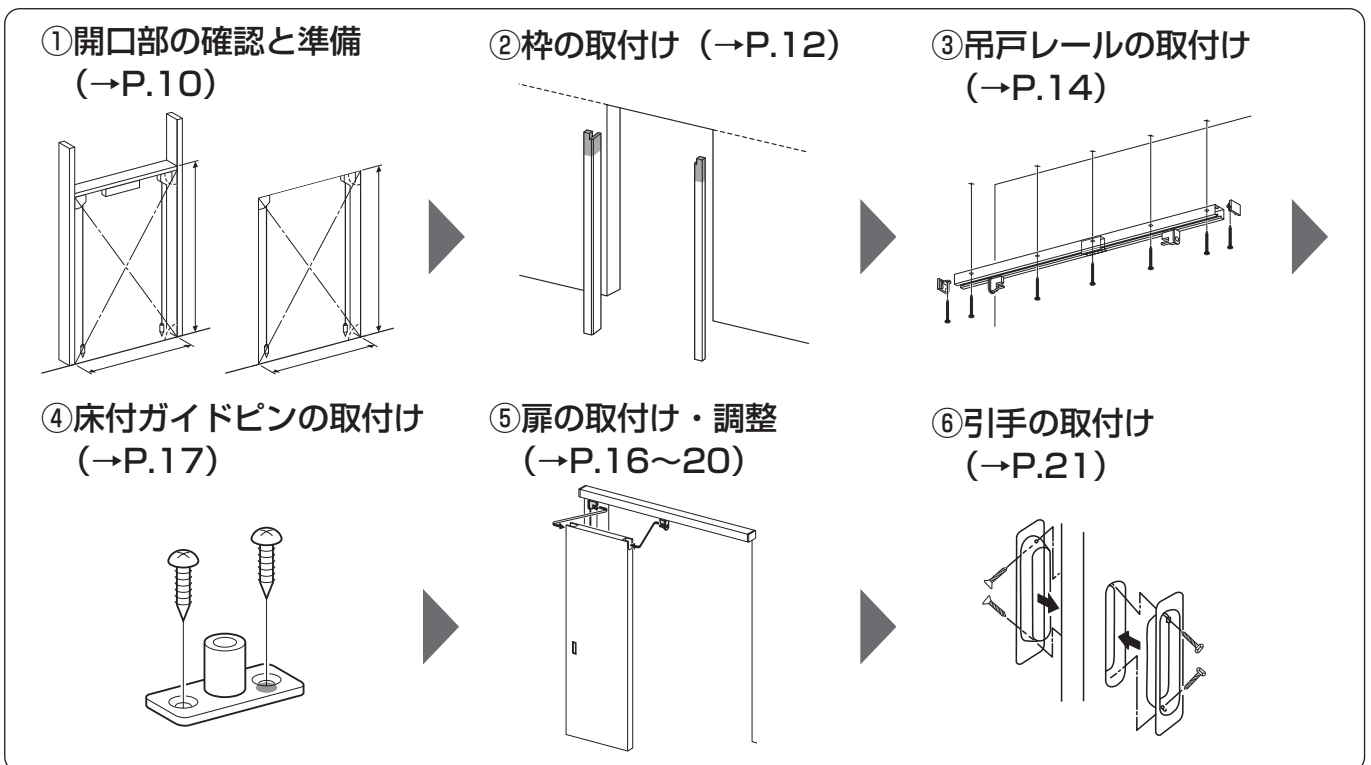


FL~枠レール セット上端	扉高
2089	2045
2400	2356
2500	2456

※扉高は、「天井高(FL~枠レールセット上端)−44mm」になります。
 ※扉高2356、2456は特注サイズです。

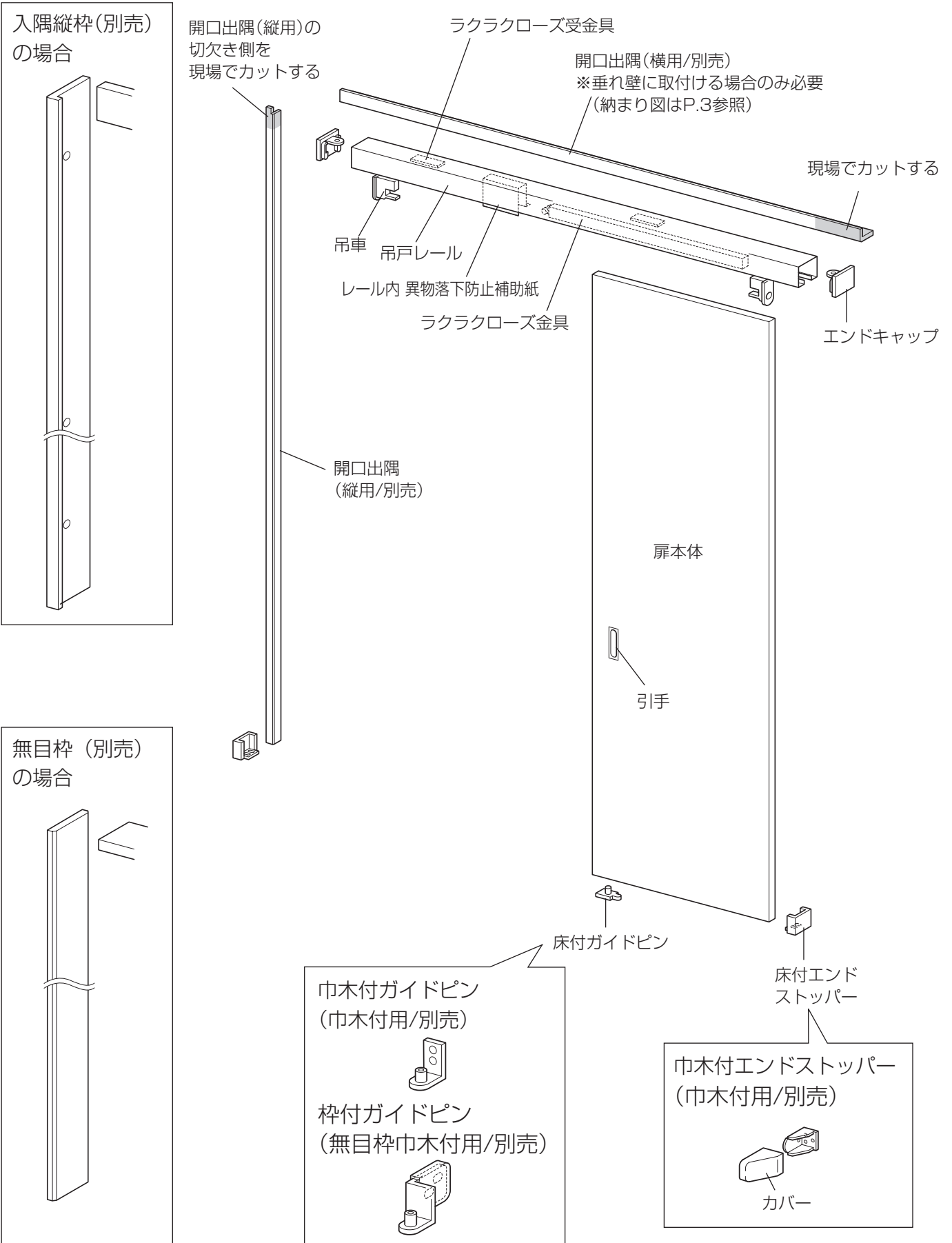
4. 施工の流れ

この製品を取付ける開口部に枠とレールを取付け、次に扉を取付けます。
 取付けが終わったら、スムーズに扉が開閉できることを確認してください。



5. 各部のなまえと部材・部品表

1. 各部のなまえ




5. 各部のなまえと部材・部品表

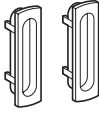
2. 部材・部品表 (施工前に必ず部品を確認してください)

部材の種類と数量、状態を確認してください。

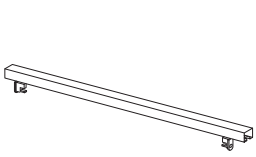

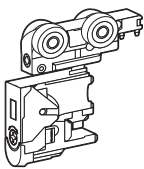
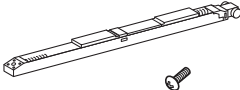
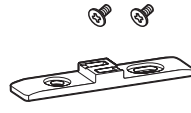
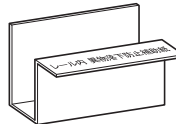
■扉梱包

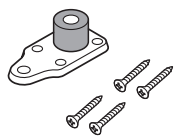
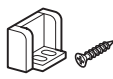
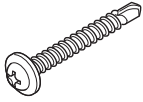

扉本体	
	
	1

■引手梱包

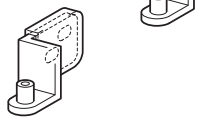
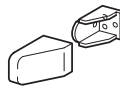
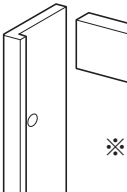
錠なし 本体	
	
	1セット

■レール梱包

上吊レール					
※部品取付済	上吊レール	吊車	ラクラクローズ金具本体	ラクラクローズ受金具	レール内 異物 落下防止補助紙
			 ナベM4×17 (1本/個) ※吊車に連結済み	 平頭M4×5 (2本/個)	
1セット	1本	2個	1個	1個	1個

部品袋			
床付ガイドピン	床付エンド ストッパー	レール固定用ビス	エンドキャップ
 サラφ3×16 (4本/個)	 サラφ4×20 (2本/個)	 ドリルビス φ4×60	 エンドプレート (左右1枚ずつ)
1個	2個	7本	2個

■オプション品

巾木付ガイドピン (巾木付壁用) / 枠付ガイドピン (無目枠巾木付壁用)	巾木材 エンドストッパー (巾木付壁用)	入隅縦枠※
	 (2個入/梱)	 ※枠施工ビスφ4.2×44 5本 穴隠しキャップ 8個 同梱
1梱	1梱	1梱

6. 開口部の確認と準備

1. 開口部の準備

下図の寸法に従って、開口部を準備してください。

お願い

- 製品を組み立てるときは、部材を直接床の上に置かないでください。
製品または床材にキズがつくおそれがあります。
- 養生材または梱包材の上に、ビスや釘などが落ちていないか確認してから作業してください。
- 下図は巾木の厚みが9mm以下の場合です。巾木の厚みが9mm以上ある場合は、さらに壁内を大きくとる必要がありますのでご注意ください。

■ 開口出隅の場合

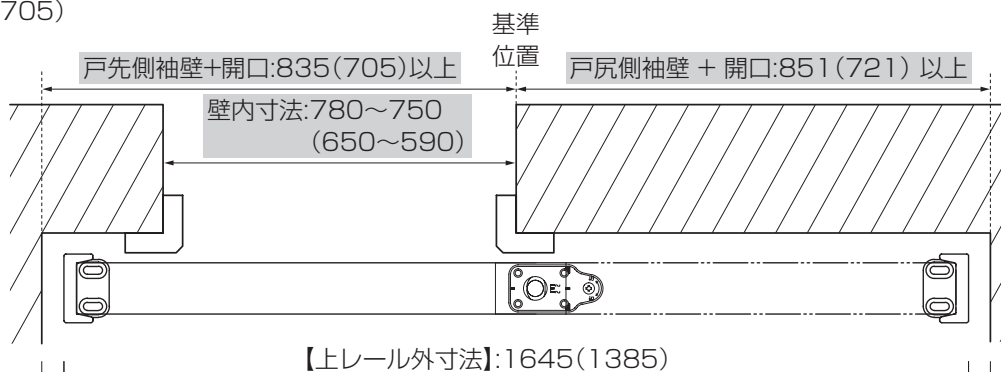
横断面図

※単位はmm
※()は扉幅705の場合

※表記寸法は以下の場合の標準寸法です。

扉幅: 835/(705)

扉高: 2045



レールエンドキャップ
取付必要寸法:20以上

レールエンドキャップ
取付必要寸法:20以上

■ 無目枠の場合

横断面図

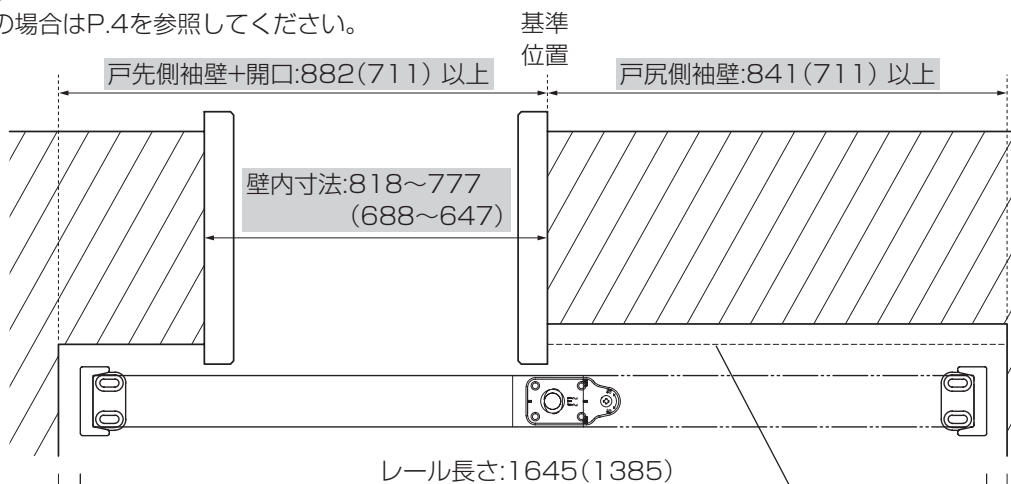
※単位はmm
※()は扉幅705の場合

※表記寸法は以下の場合の標準寸法です。

リビングドア扉幅: 835/(705)

扉高: 2045

※最大開口幅の場合はP.4を参照してください。



レールエンドキャップ
取付必要寸法:20以上

壁から枠まで10~14

レールエンドキャップ
取付必要寸法:20以上

6. 開口部の確認と準備

2. 天井下地の確認

開口部の天井に下地があることを確認してください。
下地がない場合は補強材（現場手配）を取付けてください。

警告



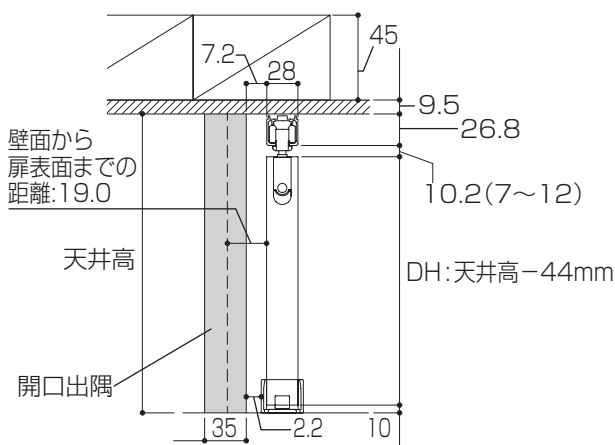
必ず45mm以上の下地があることを確認し、
ない場合は補強材を取付けてください。
下地がない状態で扉を取付けると、脱落してけが
や破損する原因になります。

お願い

本製品は12.5mm厚の天井ボード2枚貼りまで対応し
ております。天井ボードの厚みは合計25mm以内にし
てください。

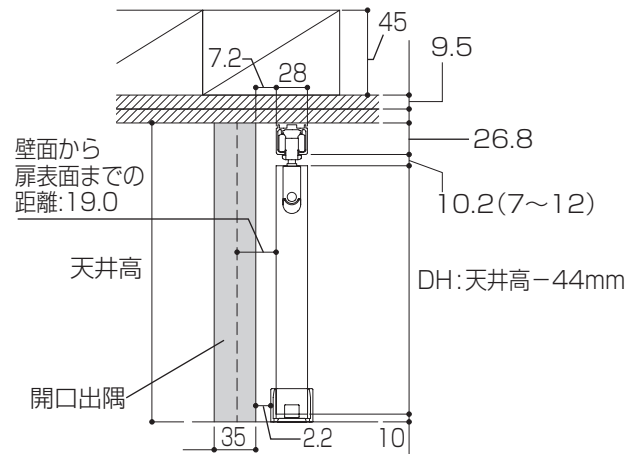
■天井ボード(9.5mm厚)1枚貼りの場合

開口出隅・無目枠納まり



■天井ボード(9.5mm厚)2枚貼りの場合

開口出隅・無目枠納まり



7. 枠の取付け

1. 用意するもの（現場手配）

- スペースー
柱の幅程度の木片、厚みはすき間に合ったもの。乾燥した材料を用意してください。

お願い

- 枠の水平・垂直を確認してから取付けてください。
扉が閉まりにくくなったり、枠との間にすき間ができる原因となります。



たおれ



たいこ



つづみ



傾き



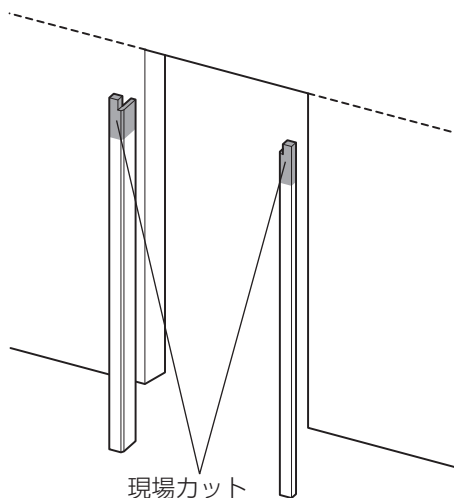
ねじれ

2. 別売の開口出隅・無目枠の取付け

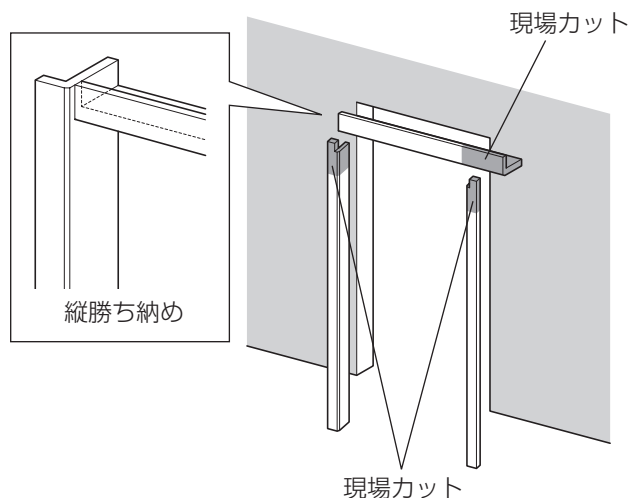
縦用・横用ともに現場に合わせてカットしてください。無目枠の場合と垂れ壁ありの場合は、縦用勝ちで取付けてください。

■ 開口出隅の場合

垂れ壁なしの場合



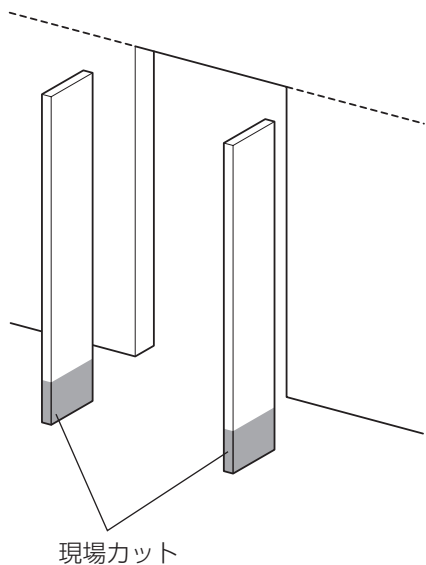
垂れ壁ありの場合



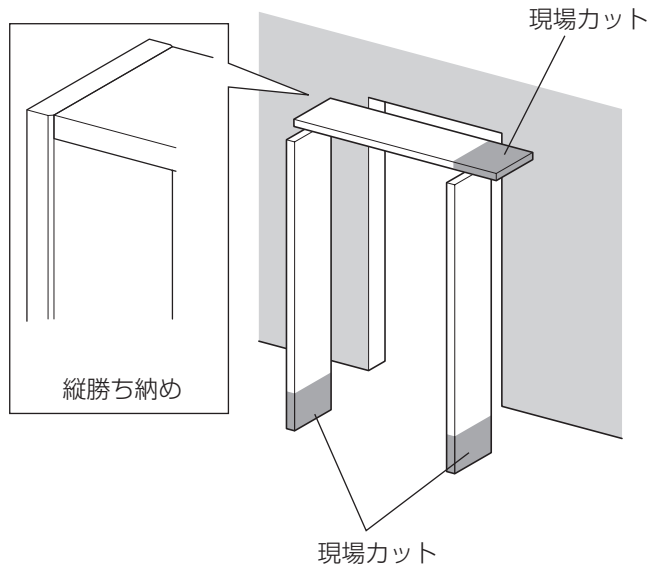
7. 枠の取付け

■無目枠の場合

垂れ壁なしの場合



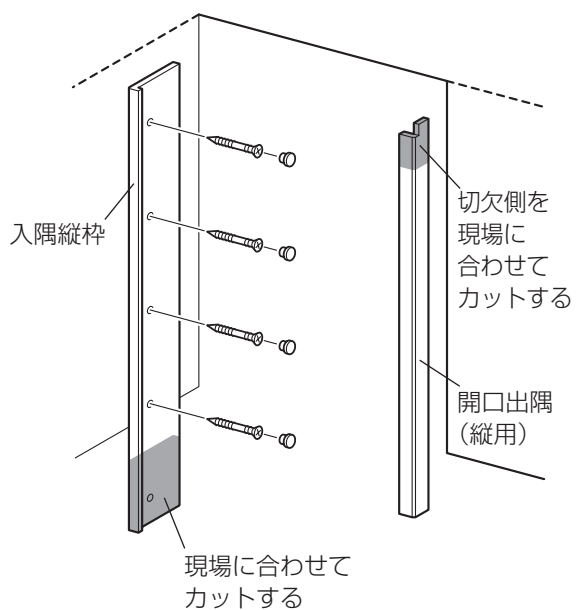
垂れ壁ありの場合



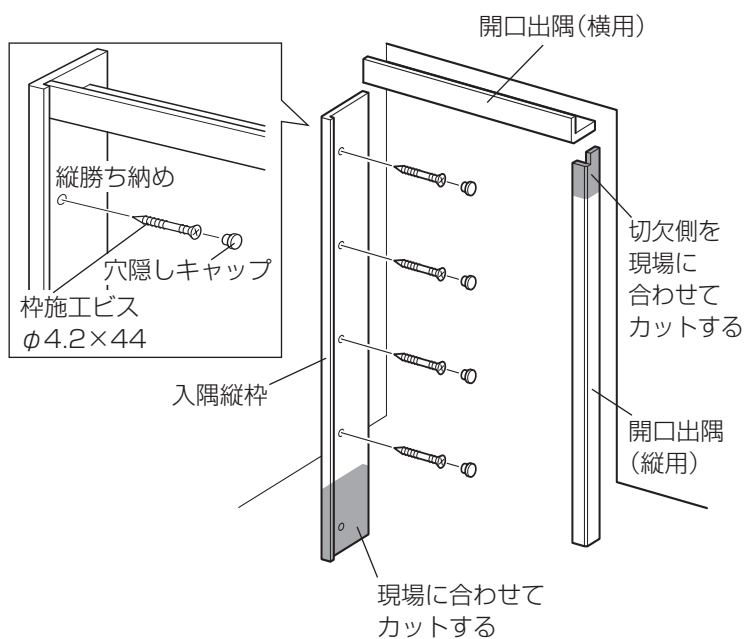
3.別売の入隅の場合

入隅部は、入隅縦枠と開口出隅セット（縦用・横用/別売）を取付けてください。
 垂れ壁ありの場合は、入隅縦枠・開口出隅（縦用）は現場に合わせてカットしてから縦枠勝ちで取付けてください。

垂れ壁なしの場合



垂れ壁ありの場合

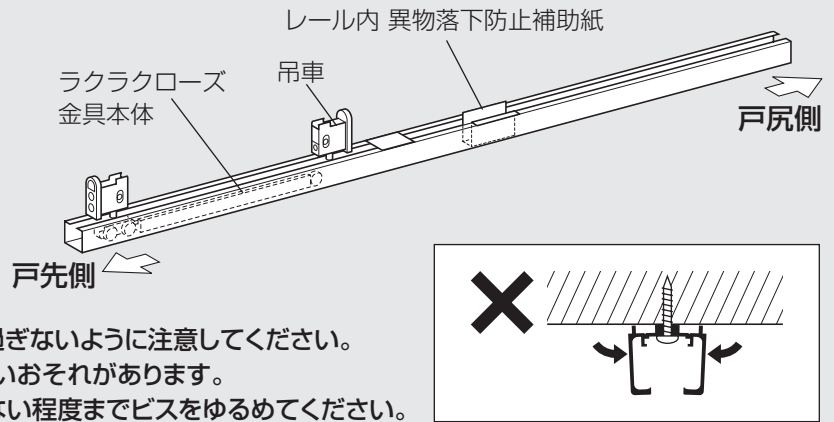


8. 吊戸レールの取付け

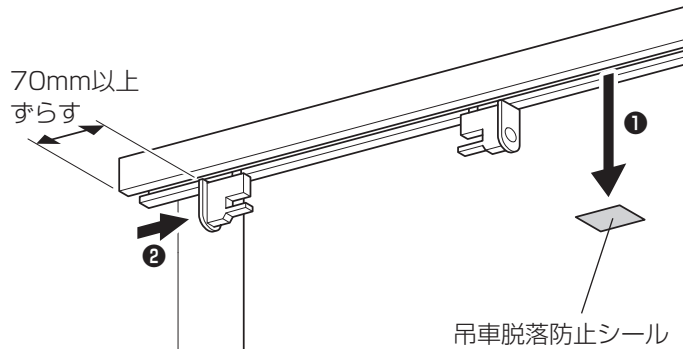
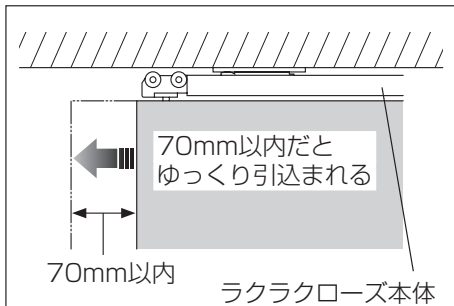
1. 取付け前の確認

お願い

- 吊戸レールは立てかけないでください。立てかけると、ラクラクローズ機能に負荷がかかり破損するおそれがあります。
- 吊戸レールはラクラクローズ金具本体、ラクラクローズ受金具や吊車で構成されています。これらの部材を取外さないでください。
- 吊戸レールを取付ける際、ビスで締付け過ぎないように注意してください。レールが変形すると、扉がうまく開閉しないおそれがあります。扉の走行が重い場合は、レールが変形しない程度までビスをゆるめてください。
- レール内 異物落下防止補助紙は、吊戸レールをビスで固定する際に、全てのビスで使用しますので捨てないでください。



吊車は、吊戸レール内のラクラクローズ金具に内蔵されているバネで引っ張られた状態で固定されています。戸先側のレールをビスで固定する際は、吊車脱落防止シールをはがしてから①、吊車をバネに引込まれない位置(70mm以上)までずらしてください。②

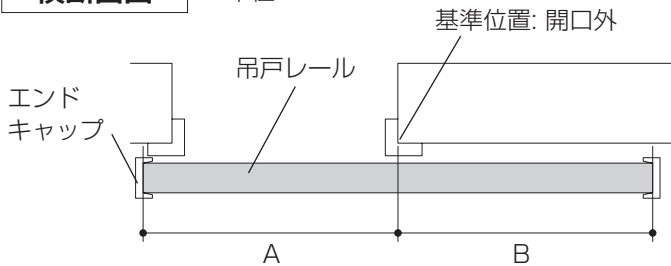


2. 吊戸レールの取付位置

吊戸レールの取付位置を確認してください。

横断面図

※単位:mm

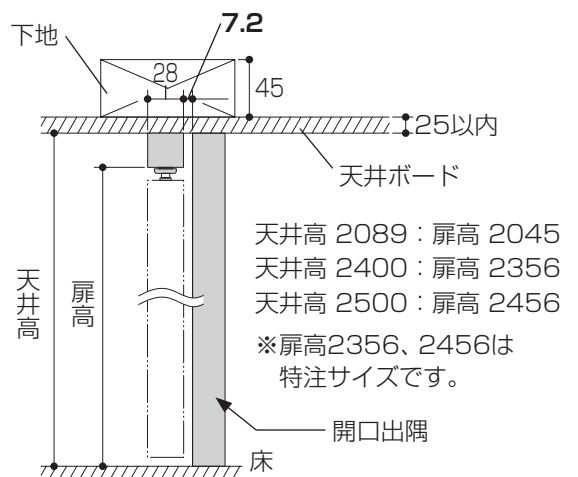


枠の種類	扉幅	A	B
開口出隅	835	807.5	823.5
	705	677.5	693.5
無目枠※	835	817.0	814.0
	705	687.0	684.0

※最大開口幅の場合はP.4を参照してください。

縦断面図

※単位:mm



8. 吊戸レールの取付け

3. 吊戸レールの取付け

1. エンドキャップを吊戸レールの両端に差込んでください。
2. レール内 異物落下防止補助紙を使用して吊戸レールを天井に取付けてください。

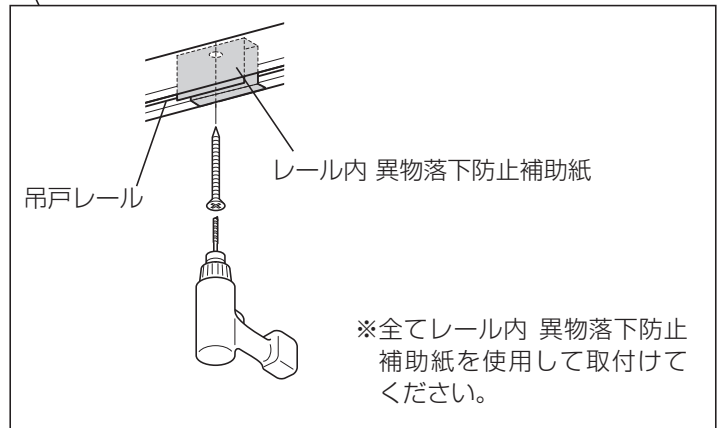
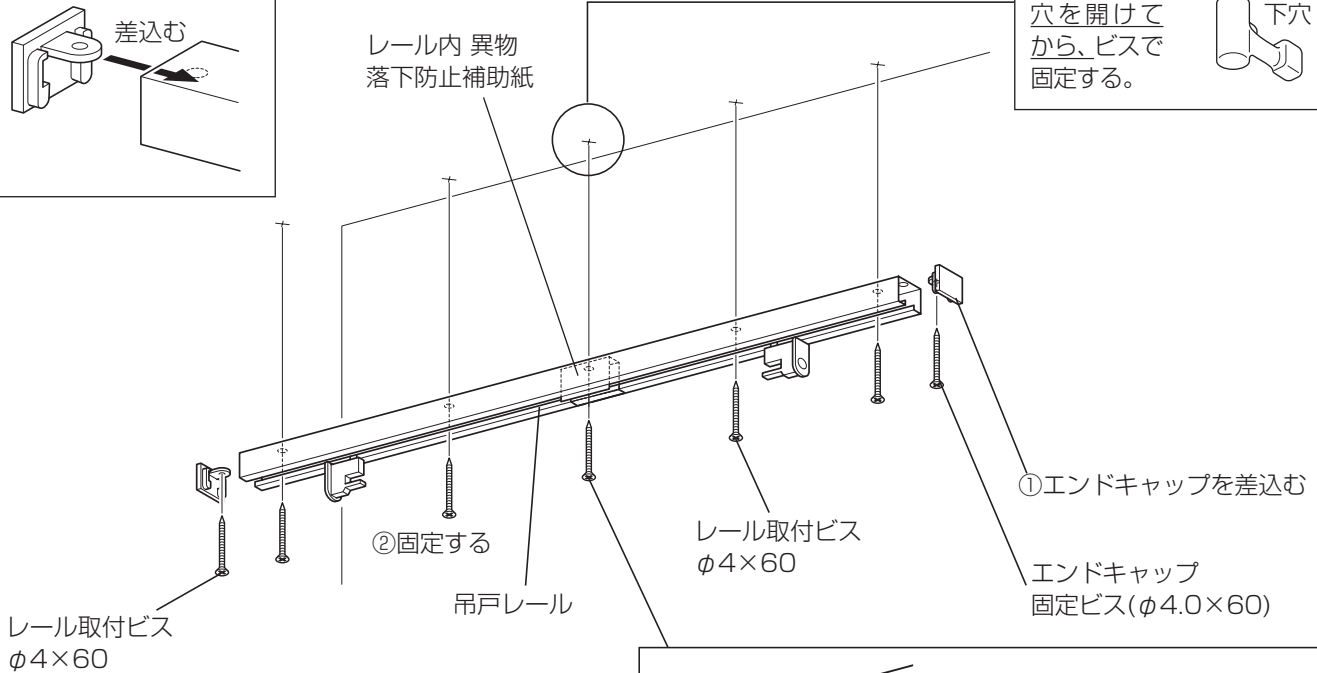
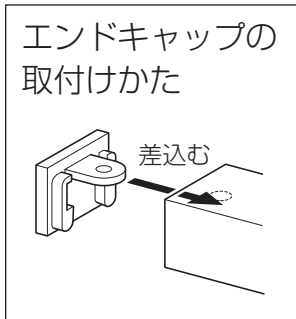
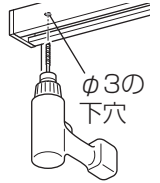
※エンドキャップを取付ける際は、レール内 異物落下防止補助紙の端を1cmカットして使用してください。

お願い

吊戸レールを取付ける際、天井の石膏ボードの粉や木くずをレールの溝に落とさないようにするため、レール内 異物落下防止補助紙を使用してください。
吊戸レールの溝に粉や木くずを残したままにすると、異音の原因になります。

●軽量鉄骨下地で鋼鉄製の開口補強材がある場合

レール固定ビスの位置に、 $\phi 3$ の下穴を開けてから、ビスで固定する。



9. 扉の取付け

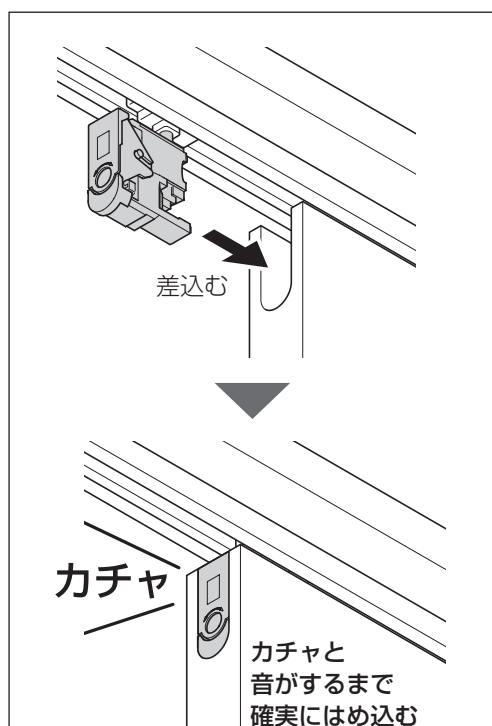
お願い

- 製品を組み立てるときは、部材を直接床の上に置かないでください。
製品または床材にキズがつくおそれがあります。
- 養生材または梱包材の上に、ビスや釘などが落ちていないか確認してから作業してください。

1. 床付きガイドピンの取付け

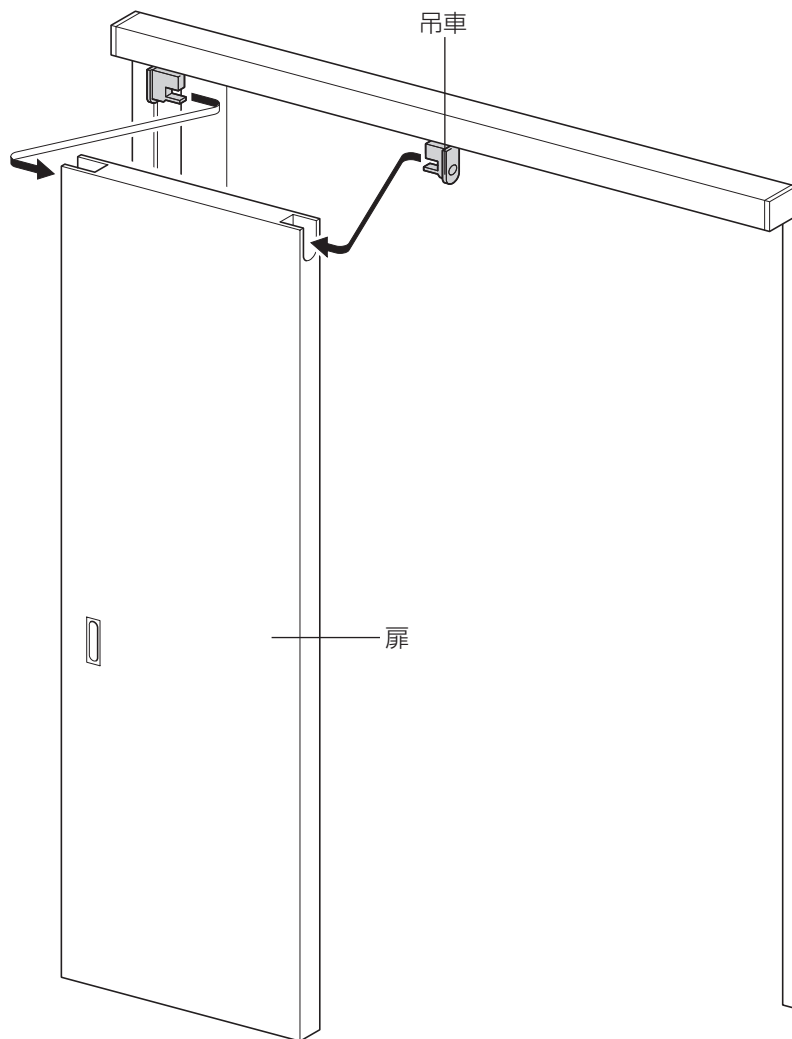
床付きガイドピンを取付ける際は、いったん扉を取付けて、床付きガイドピンの取付位置を確認します。

1. 扉に吊車を取付けてください。



⚠ 注意

- 吊車が扉に確実にはめ込まれていることを確認してください。
扉が外れてけがや破損する原因になります。



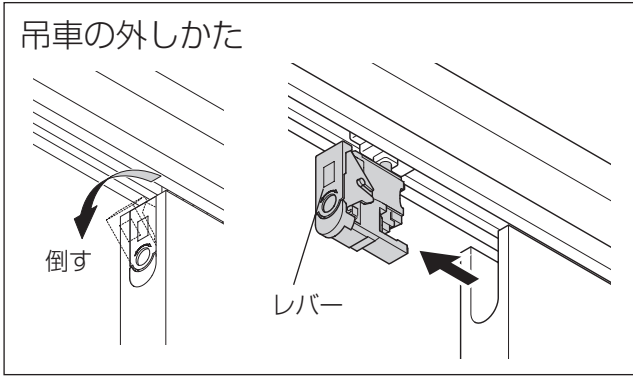
お願い

- 床にキズがつかないように、養生材を敷いてから作業してください。

2. 扉の前後・上下調節をおこなってください。(→P.20)

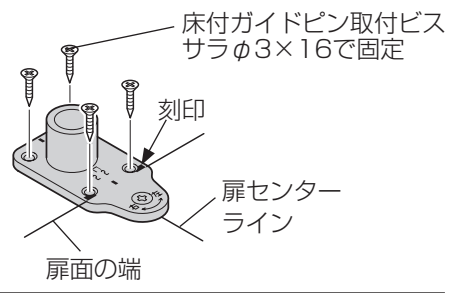
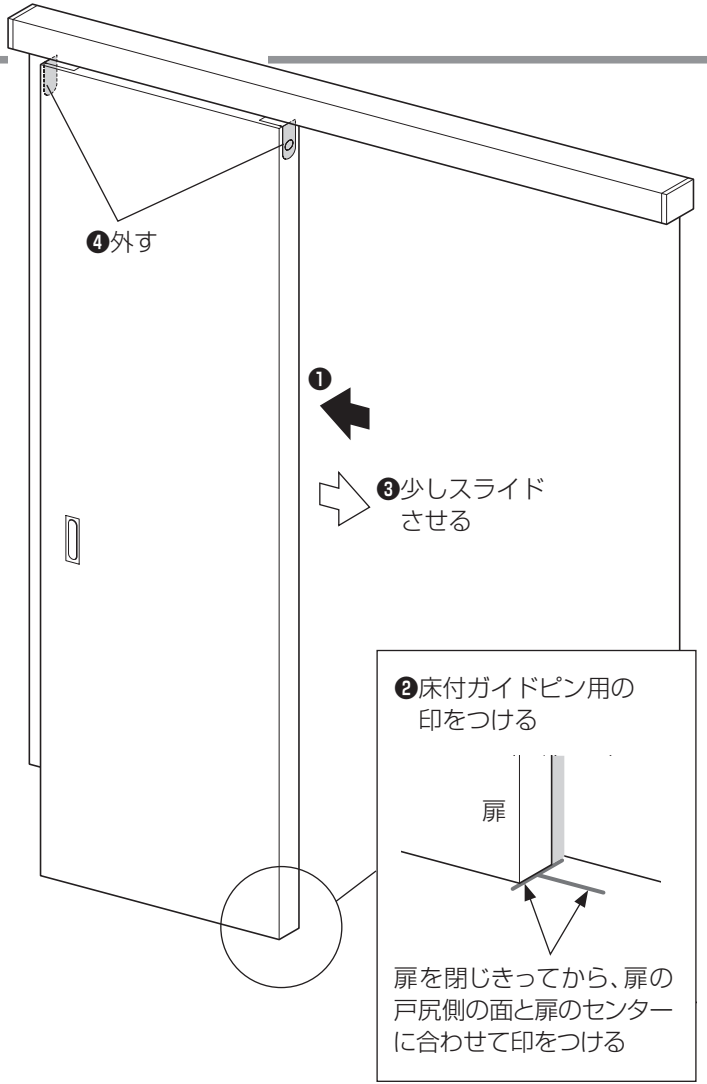
9. 扉の取付け

3. 扉を閉めてください。①
4. 床付ガイドピンを取付ける位置に、印をつけてください。②
5. 扉を少しスライドさせ③、吊車を外して、扉を取外してください。④



お願い
 外した扉は立てかけないでください。
 平らな安定した場所に梱包材などを敷き、その上に平置きしてください。

6. 「4」 でつけた印に合わせて、床付ガイドピンをビスで取付けてください。



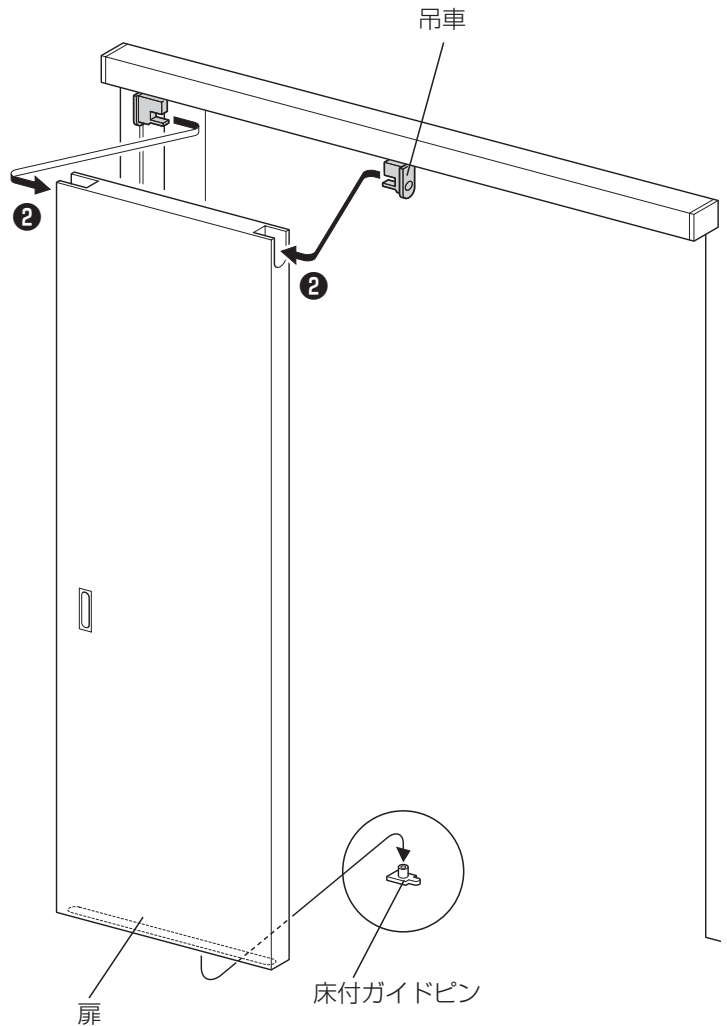
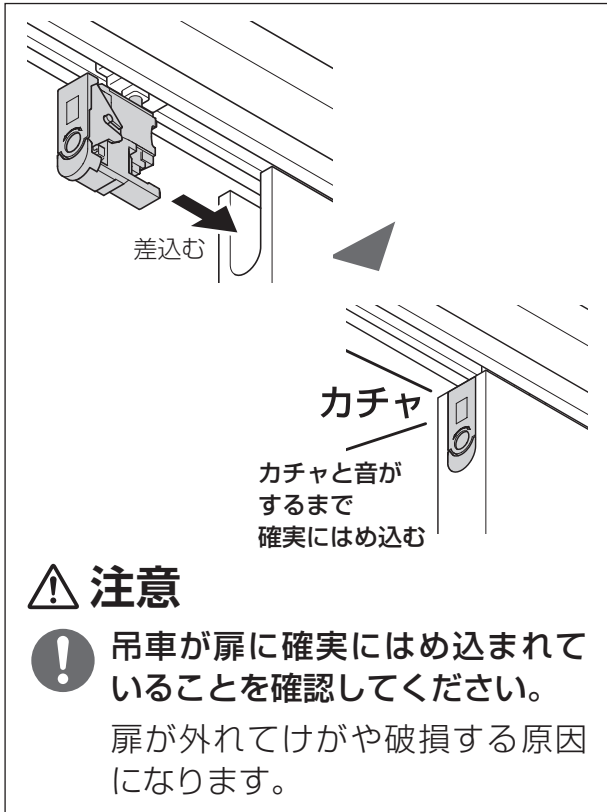
巾木付ガイドピンの取付け (巾木付壁の場合)

巾木付ガイドピンの取付けは、付属の説明書を参照してください。

- 扉を締め切ったときに控え壁との重なりが 47~52mm になることを確認してください。
- 巾木付ガイドピンを取付ける場所には必ず胴縁などの補強を取付けてください。

2. 扉の取付け

1. 扉下部の溝を床付ガイドピンに通してください。①
2. 吊車を扉に取付けてください。②



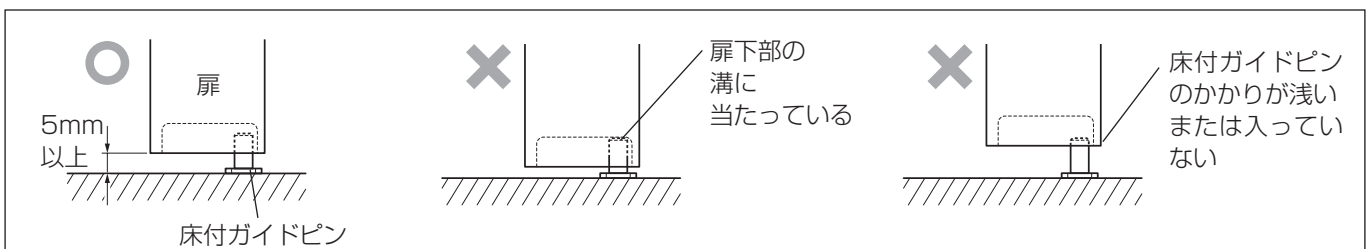
お願い

扉を吊込む際に、天井を傷つけないよう注意してください。

3. 扉とガイドピンの位置を確認し、必要に応じて扉の調節をおこなってください。
(→P.20)

⚠ 警告

- !** 扉とガイドピンの位置を確認してください。
ガイドピンと扉下部の溝とのかかりが浅いと扉がガイドピンから外れて脱落し、けがや破損の原因になります。

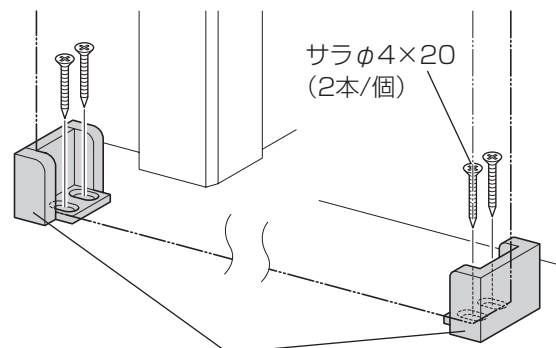


9. 扉の取付け

3. エンドストッパーの取付け

扉が完全に閉まった状態と完全に開いた状態で、扉の端面に合わせて、エンドストッパーをエンドストッパーに同梱されているビスで取付けてください。

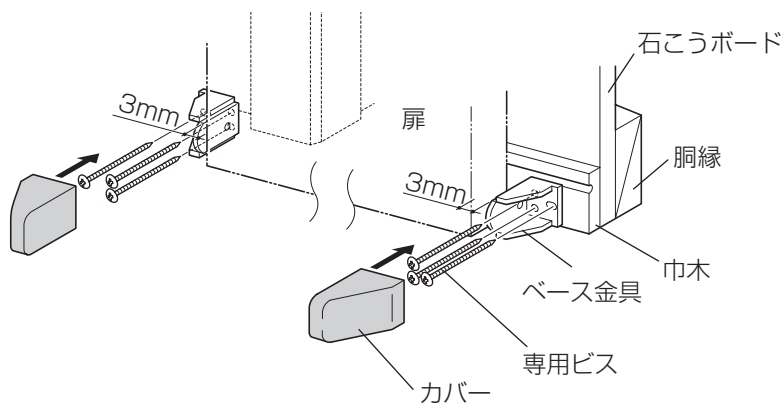
床付エンドストッパーの場合



床付エンドストッパー
扉のすき間やガタツキのないように
左右の納まりを確認して固定

巾木付エンドストッパー(巾木付壁)の場合

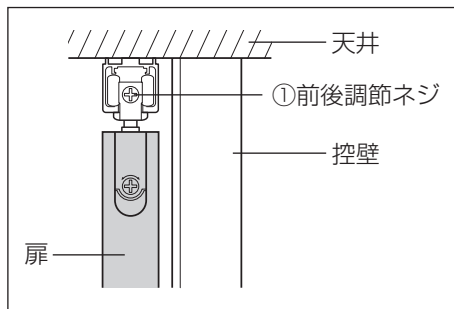
巾木付ガイドピンを取付ける場所には必ず胴縁などの補強を取付けてください。



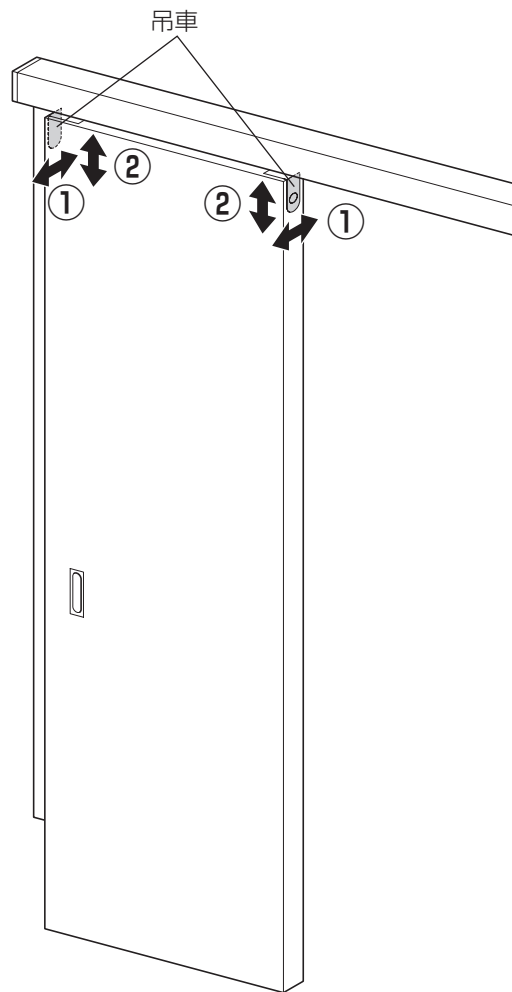
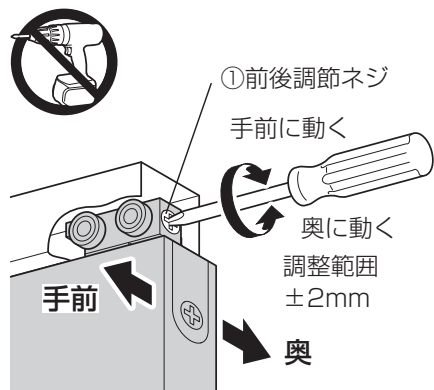
4. 扉の調整

吊車の前後調節ネジと上下調節ネジで、扉の位置・傾きを調整してください。

扉と縦枠を平行に調節する
(前後調整)

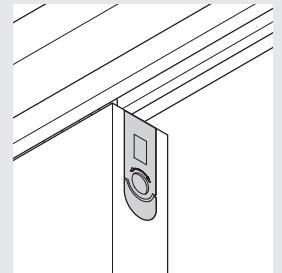


①扉上部

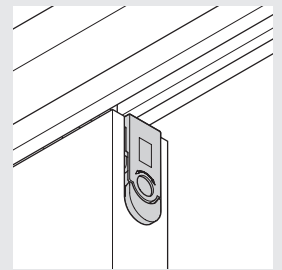


お願い

吊車の取付状態を確認してください。



吊車がはみ出している



扉の傾きを調節する (上下調整)

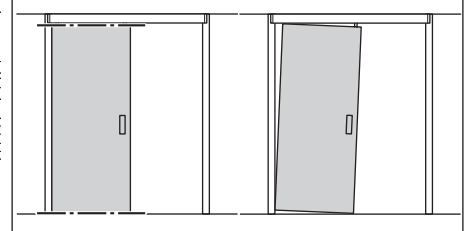
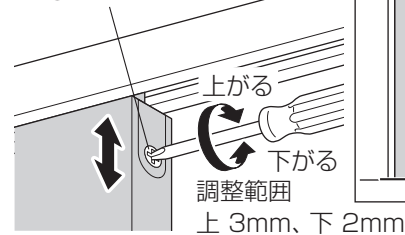
②扉上部



扉を水平にする



②上下調節ネジ



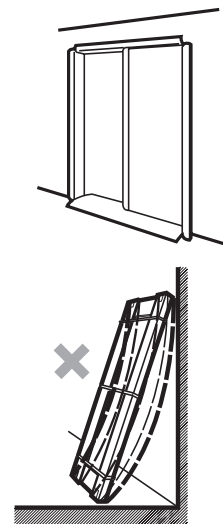
10. 引手の取付け

引手に同梱されている説明書を参照して、引手を扉に取付けてください。

11. 扉の養生

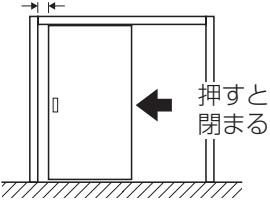
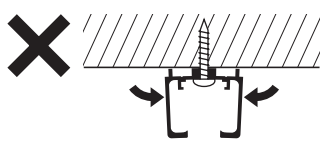
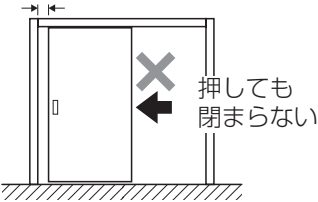
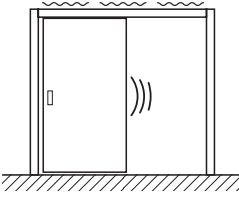
工事が完成するまで扉・枠をダンボールなどで養生してください。

- ⊘ 養生テープは直接貼らないようにしてください。
 直貼り使用すると、シートがはがれることがあります。
 ※養生テープをはがす際は、ドライヤー加温などでゆっくりと
 はがしてください。常温でテープを急激にはがすと、シート
 がはがれる原因になります。
- ⊘ 扉を壁に立てかけて保管しないでください。
 扉が変形するおそれがあります。
 扉は梱包ケースに再度入れ、平積み保管してください。



12. 扉の動作確認

扉を開閉し、ラクラクローズが正常に動作することなどを確認してください。
 下記のような場合は、考えられる原因を参照し、それぞれ調整してください。

こんなときは	考えられる原因	調整のしかた	参照ページ
ラクラクローズが機能しているが、扉が最後まで引込まれずにすき間ができる。 ①扉を押すと最後まで閉まる場合 	扉がねじれていて、ガイドローラーと床付下レールが擦れている。 ビスの締め過ぎによって、吊戸レールが変形し、溝幅が狭くなっている。 	吊車の前後調節をおこない、扉のねじれを解消してください。 レールが変形しないように、ビスをゆるめてください。それでも直らない場合は、レールの交換が必要です。お買い上げの販売店もしくは工事店にご連絡ください。	P.20 P.14
②扉を押しても最後まで閉まらない場合 	扉と縦枠のすき間が10mm程度の場合は、扉が床付ガイドピンとぶつかっている。	吊車の上下調節をおこない、扉と床付ガイドピンが擦れないようにしてください。 床付ガイドピンの取付位置を変えてください。	P.20 床付ガイドピンの正常な位置 P.17
異音が発生する。 ①扉全体に擦れたような音がする。 	ビスの締め過ぎによって、吊戸レールが変形し、溝幅が狭くなっている。 扉と床付ガイドピンが擦れている。	レールが変形しないように、ビスをゆるめてください。それでも直らない場合は、レールの交換が必要です。お買い上げの販売店もしくは工事店にご連絡ください。 吊車の上下調節をおこない、扉と床付ガイドピンが擦れないようにしてください。	P.14 P.20
②扉を動かすとガタガタと音がする。	天井の石こうボードの粉や木くずが吊戸レールや吊車に付着している。	吊車レールや吊車に付着している粉や木くずをきれいに取り除いてください。	P.15

※以上の処置をおこなっても正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店もしくは工事店にご連絡ください。




1. 安全上のご注意 (必ずお守りいただきたいこと)

この説明書に書かれた注意事項は、あなたや他の人への危害や物的損害を防ぐためのものです。必ずお守りください。


警告表示の種類と内容

	警告	誤った取扱いにより死亡や重傷などに結びつく可能性のある内容		注意	誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつく内容
---	-----------	-------------------------------	---	-----------	---------------------------------

本文中に使われている図・記号の意味は次のとおりです。


	してはいけない内容です		必ず実行していただく内容です		留意事項、操作方法、使用・お手入れ方法など
---	-------------	---	----------------	---	-----------------------

警告

-  お客様で、製品の解体や移設・レイアウト変更をしないでください。


組立・施工が不十分ですと、破損や転倒によりけがをする原因になります。必ずお買い上げの販売店、工事店にご相談ください。

注意

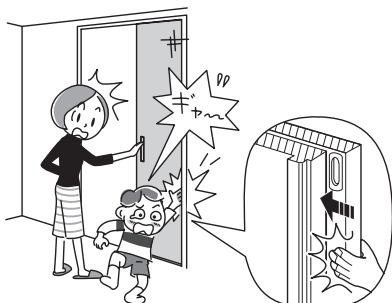
-  扉の開閉は、静かにゆっくりおこなってください。


乱暴に開閉しますと扉の破損や、吊車の脱輪によるけがのおそれがあります。



-  扉を開閉するときは、必ず引手を持っておこなってください。


引手以外を持って開閉しますと、手や指をはさみ、けがをするおそれがあります。特に、小さなお子様には十分にご注意ください。



-  扉に強い衝撃を与えたり、扉にもたれかかったりしないでください。


扉の破損や吊車の脱輪による、けがのおそれがあります。




-  この製品の分解や改造はしないでください。

製品強度が失われ、けがや破損の原因になります。




-  各部のビスがゆるんだままで使用しないでください。

本体の変形・破損や転倒により、けがをする原因になります。早めに締め直してください。

-  部材の欠落や変形など、異常を発見したときは、直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店、工事店にご相談ください。

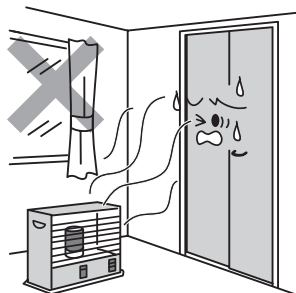
そのまま使用していると、製品の破損により、けがをすることがあります。

-  製品に貼ってあるラベルは、はがさないでください。

誤った使いかたや事故を防止するためのものです。

2. 使用上のお願い

- 使用開始後、扉と縦枠との間にすき間が出たり、開閉時の動きが重くなったり、ガタついたりするときは、25ページを参照して、各部の調整をおこなってください。
不具合が出たまま使用していると、故障の原因になります。
- ストープなどの熱源を、扉に近づけないでください。扉が反ったり、表面がゆがんだりするおそれがあります。

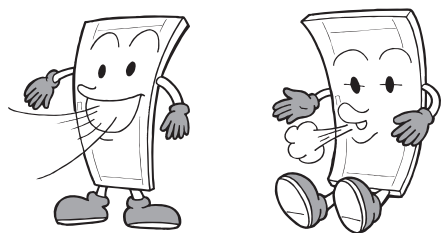


木質扉の反りについて

木材を原料とする木質材料（合板、パーティクルボード、MDFなど）を加工して作られた内装ドアは、空気中の水分を吸収したり放出したりすることによって、伸縮する特性を有しています。

この空気中の水分の吸収・放出は、内装ドア周辺の温度、湿度などの環境条件の変化に応じて発生するものであり、自然現象と言えます。

特に内装ドアの室内側と室外側とで環境条件が大きく異なる場合、木質材料に「反り」という現象が発生することがあります。



ラクラクローズ機能について

● ラクラクローズ機能とは・・・

吊戸を閉める際に起こるはね返りを防ぐダンパー機能です。
扉の上部および鴨居の両端に特殊な金具を採用しています。

- ラクラクローズ機能は、扉本体の重量や室温によって速度が多少変化いたします。
- ラクラクローズ金具に油やグリスなどを注入しないでください。機能の低下・故障の原因となります。
- ラクラクローズ機能によって扉が引込みきる前に力をかけて引込まないでください。機能の低下・故障の原因となります。

- 製品にプラスチックやビニールなどの樹脂製品やゴム製品を長期間接触した状態にしないでください。塗装との化学反応により、接触面が軟化したり、ベトツキ現象や色の移行を起こす原因になります。
- 製品にセロハンテープやシールなど、粘着性のあるものを貼付けないでください。表面材がはがれる原因になります。
- 製品に飲み物をこぼしたままにしたり、ぬれ雑巾などを放置しないでください。表面材の変色・はがれ・ひび割れ・反りの原因になります。
必ず水分が残らないように拭き取ってください。

「反り」の発生をできるだけ抑える方法について

ご使用の環境や設置場所によって「反り」が発生する場合があります。「反り」の発生をできるだけ抑える方法として、次のことにご注意ください。

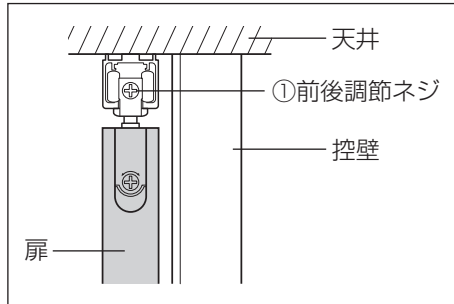
1. エアコン、暖房器具などをお使いになる場合は、製品に直接熱風、熱気が当たらないようにしてください。
2. 夏場の冷房、梅雨時の除湿、冬場の暖房などにより、内装ドアの室内側と室外側との環境条件の差を極端に大きくしないでください。
3. 製品に直射日光が当たる場合は、窓辺にカーテン、スタレなどを設けて日光を遮ってください。

発生した「反り」は、内装ドアの室内側と室外側との環境条件を近づけることによって、小さくなる場合があります。

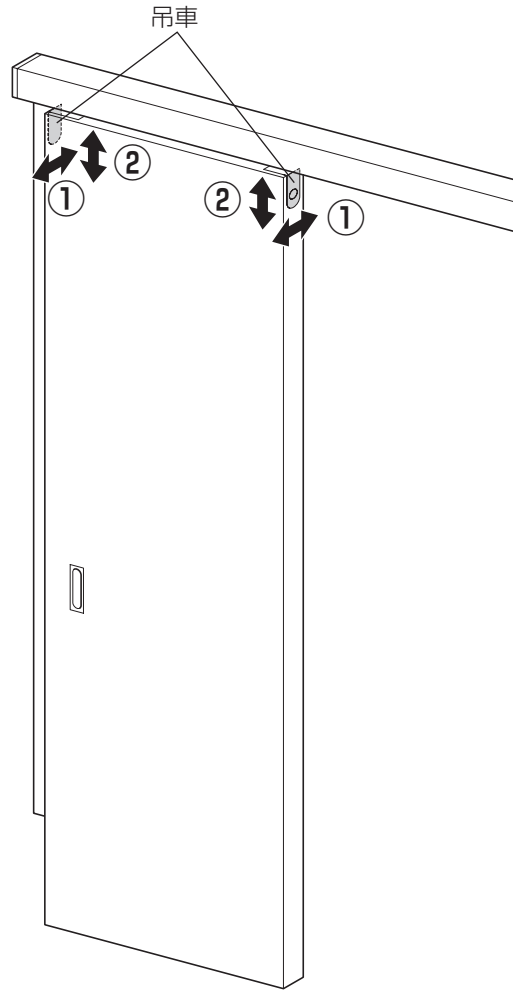
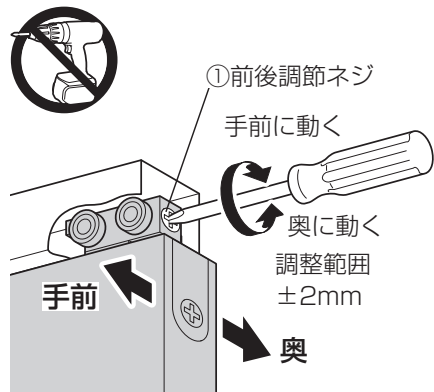
3. 扉の調整のしかた

吊車の前後調節ネジと上下調節ネジで、扉の位置・傾きを調整してください。

扉と縦枠を平行に調節する
(前後調整)

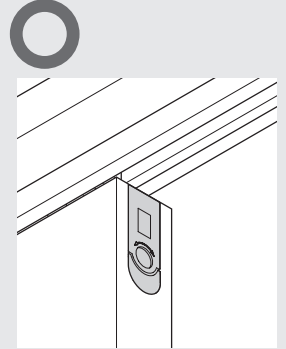


①扉上部

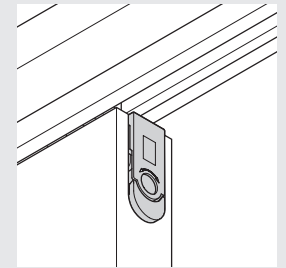


お願い

吊車の取付状態を確認してください。



✗ 吊車がはみ出している



扉の傾きを調節する (上下調整)

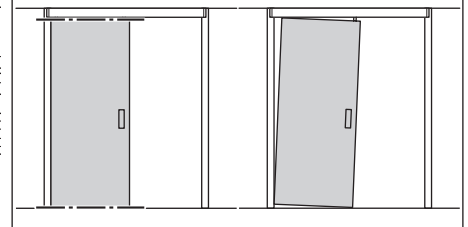
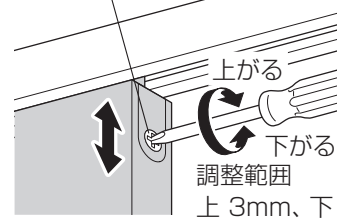
②扉上部



扉を水平にする



②上下調節ネジ



4. お手入れのしかた

- 日常のお手入れは、乾拭きしてください。
- 汚れが著しい場合は、水でうすめた中性洗剤につけた雑巾を固く絞って拭いた後、乾拭きしてください。

お願い

- 酸、アルカリ性洗剤やアルコールやシンナー、ベンジンなどを使用しないでください。
表面のツヤが無くなったり変色するおそれがあります。



■定期的な点検項目

製品の長期間の使用に伴い、部品などに劣化（経年劣化）が生じ、安全上の支障が出るおそれがあります。経年劣化による重大事故を防止し、製品を長く安全にご使用いただくために、お客様自身による以下の点検を実施いただきますよう、お願いします。

点検部位	点検項目	兆候有無	経年劣化に伴う具体的な事象
吊車	吊車が扉から抜けかけていないか	有・無	扉のガタツキ、脱落
床付ガイドピン	扉がスムーズに動くか	有・無	扉のガタツキ

⚠️ 注意

- ❗ 点検後、上記のような異常が発見された場合は直ちに使用を中止し、施工された施工業者様へ連絡し、メンテナンスを受けてください。

そのまま使用していると、部材の脱落などにより、けがをするおそれがあります。

DAIKEN製品の品質保証について

弊社では、下記対象製品について、「保証期間一覧表」に示す期間、保証事項に記す内容に基づき、無料で修理させていただきます。

保証期間経過後の修理については有料となります。

■対象製品

リビングドア
アウトセット吊戸 片引 天井付け吊戸

■保証事項

通常的环境下にて、弊社の施工説明書・取扱説明書に準じた正常な施工・使用がなされている状態（前提条件）で、弊社の責任に起因する製品不具合（保証期間一覧表参照）を無料で修理します。

なお、本内容は日本国内においてのみ有効です。

※修理とは、壊れたり傷んだりした部分に手を加えて、再び使用できるようにすること。

（原則、新品交換は含みません）

■保証期間

弊社製品の施工完了後、または物件の引渡後に生じた、弊社の責任に起因する製品の不具合を無料で修理する期間としております。（保証期間一覧表参照）

保証期間経過後の修理については有料となります。

保証期間一覧表

	保証事項		保証期間	
	保証箇所	保証対象となる不具合現象	起算時期	
使用上の著しい支障が生じないこと	扉	作動不良(故障)	引渡後	2年
外観上の著しい変形・変質が生じないこと		変形、変質(反り、はがれ、クラック)		

※1:「著しい」の定義

正常な施工・使用状態のもとで経過時間を考慮し、客観的に見て通常の状態から逸脱している度合いが極めて大きいことをいいます。

※2:保証期間起算時期について

保証事項が「使用」に係るものについては、保証期間を「物件引渡後」から起算します。それ以外のものについては、「当該製品施工完了後」から起算します。

■免責事項

・製品の不具合原因が次のような場合には、保証期間内であっても保証対象外となります。

- 1) 建物の設計・施工に起因する不具合
- 2) 施工説明書に記載された方法以外の施工内容に起因する不具合
- 3) 自然現象・周辺環境など（※1）の不可抗力に起因する結露、腐食、反り、割れまたはその他の不具合
- 4) 室内であっても部屋内外の温湿度差が著しく違う部位に取付けられたことに起因する不具合
- 5) 極端に乾湿を繰り返したり、著しく高温・多湿となる部位に取付けられたことに起因する不具合
- 6) 建物自体の変形、入居後における増改築や改修等に起因する不具合
- 7) 入居者または第三者の不適切な使用または維持管理などに起因する不具合
- 8) 取扱説明書記載事項から逸脱した使用に伴う、消耗、磨耗、破損、変形などによる不具合
- 9) 経時変化による通常一般的な当該保証対象品の変色、汚れ、さび、かび、劣化磨耗などの不具合
- 10) 用途外に使用された場合の故障および損害（例えば、一般家庭用を業務用に、屋内用を屋外に使用された場合など）
- 11) 犬・猫・鳥・鼠などの小動物の害に起因する不具合やキウイムシなどの虫害に起因する不具合
- 12) 仕上げ面のキズなどの不具合で引渡し時に申し入れがなかった場合
- 13) 保証期間経過後の申し出、または不具合発生後速やかに申し出がなかった場合
- 14) 製造時に実用化されていた技術では予測することが不可能な事象に起因する不具合
- 15) 離島などの遠隔地への出張を要する修理をおこなう場合、出張に要する実費
- 16) その他当該不具合の発生が弊社の責によらない場合

※1：火災・地震・水害・落雷などの天災地変や、公害・塩害・ガス害や異常な高温・低温・多湿・過乾燥などの周辺環境

ユーザー登録サービス

製品を末永く安全にご使用していただくために、ユーザー登録をお願いいたします。

ご登録いただいたお客様情報は、製品安全に関する大切なお知らせや暮らしに役立つ情報をDAIKENからご連絡する際に、利用させていただきます。

ユーザー登録は無料です！！

登録はこちらから

<https://www.daiken.jp/qr/user/>



お問い合わせ窓口について

●製品に関するお取扱い、補修、工事などのご相談は、組立・設置業者、工務店へ。

製品に関するお問い合わせ

DAIKENお客様センター

☎ **0120-787-505**
(フリーダイヤル)

●受付時間…平日9:00～17:00

(土・日・祝日・年末年始・お盆はお休みをいただいています)

<https://www.daiken.jp/qr/form01/>

メールで
写真も
送ることが
できます。



修理・交換部品のご購入の方は

DAIKENパーツショップ

部品のネット販売サイトです。

※購入に際しては登録が必要です。

<https://www.daiken.jp/qr/service/>

DAIKENホームページ ▶ お客さまサポート ▶

▶▶▶▶ DAIKENパーツショップ



ご相談窓口における
個人情報のお取扱い

DAIKEN株式会社およびDAIKENグループ各社は、当社「個人情報の取扱いに関する方針（プライバシーポリシー）」に則ってお客様に関する個人情報を利用させていただく場合がございます。（DAIKEN株式会社プライバシーポリシーに関しましては、当社ホームページに掲載しております。）なお、電話での相談に対し、折り返し電話をさせていただくためにナンバーディスプレイを採用しています。またご相談内容を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

DAIKEN株式会社

DAIKENのホームページアドレス <https://www.daiken.jp/>